

1.June 2017 錢本隆行

幸福度調査₁位!! デンマークの歴史と国民



錢本隆行(ぜにもと・たかゆき)

- 広島市生まれ、福岡市育ち。2006年から2015年までデンマークで暮らす。現在は札幌で家族と暮らす
- Education
 - 政治学士 1994
 - 社会福祉学修士 2016
 - 日本福祉大学院博士課程在籍
- Vocation
 - 時事通信社記者(東京都庁)
 - 産経新聞社記者(警視庁、大阪府庁、ニューヨーク支局)
 - 日欧文化交流学院(Nordfyns Højskoleの一部)学院長
 - 株式会社でかぬ一て(福岡市)
 - 日本医療大学(札幌市)

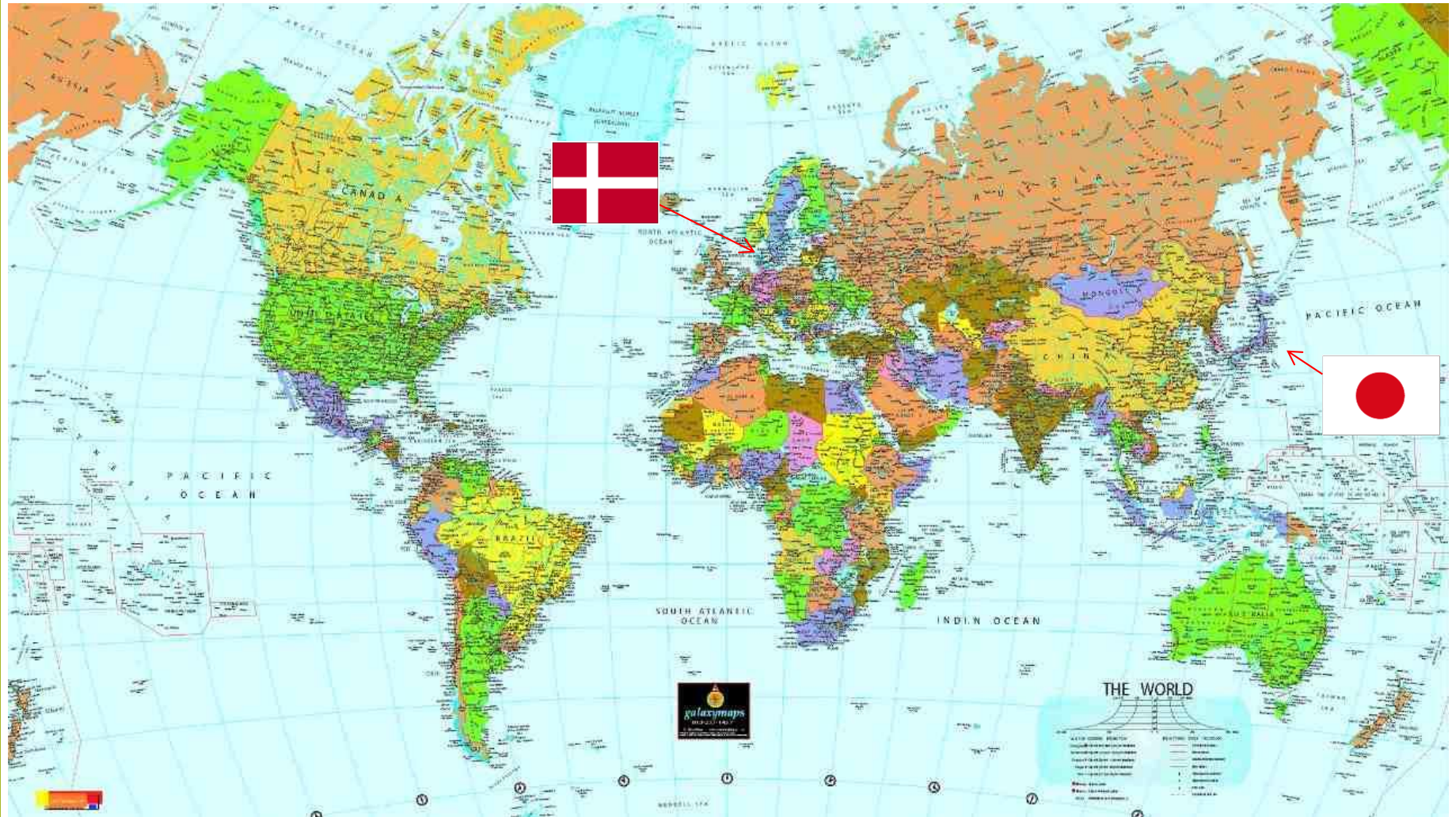
幸福度調査1位 ～デンマーク～

- ・国際連合(2012年)
 - ー日本は44位
- ・米・ワールド・バリューズ・サーベイ(2008年)
 - ー日本は43位。
- ・英・レスター大学(2006年)
 - ー日本は90位

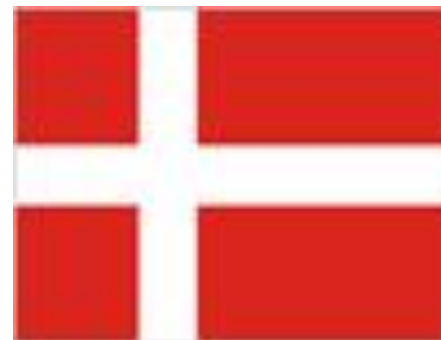
幸せな国とは？



デンマークはどこ？



デンマークはどこ？



Danmark og Japan – fakta (データ)

	Danmark	Japan
面積	43,098	377,873
人口	5,627,000(2014)	126,810,000(2015)
外国人	11.5 %(2011)	1 .67%(2010)
平均寿命	女性 82.5(2014) 男性 78.6(2014)	女性 86.83(2014) 男性 80.50(2014)
出生率	1.73(2013) -1.38(1983)-	1.42(2014) -1.39(2010)
総選挙投票率	85,9%(2015.6)	52.7%(2014.12)
	地方選 71.9%(2013.11)	

デンマークはなにで知られている？



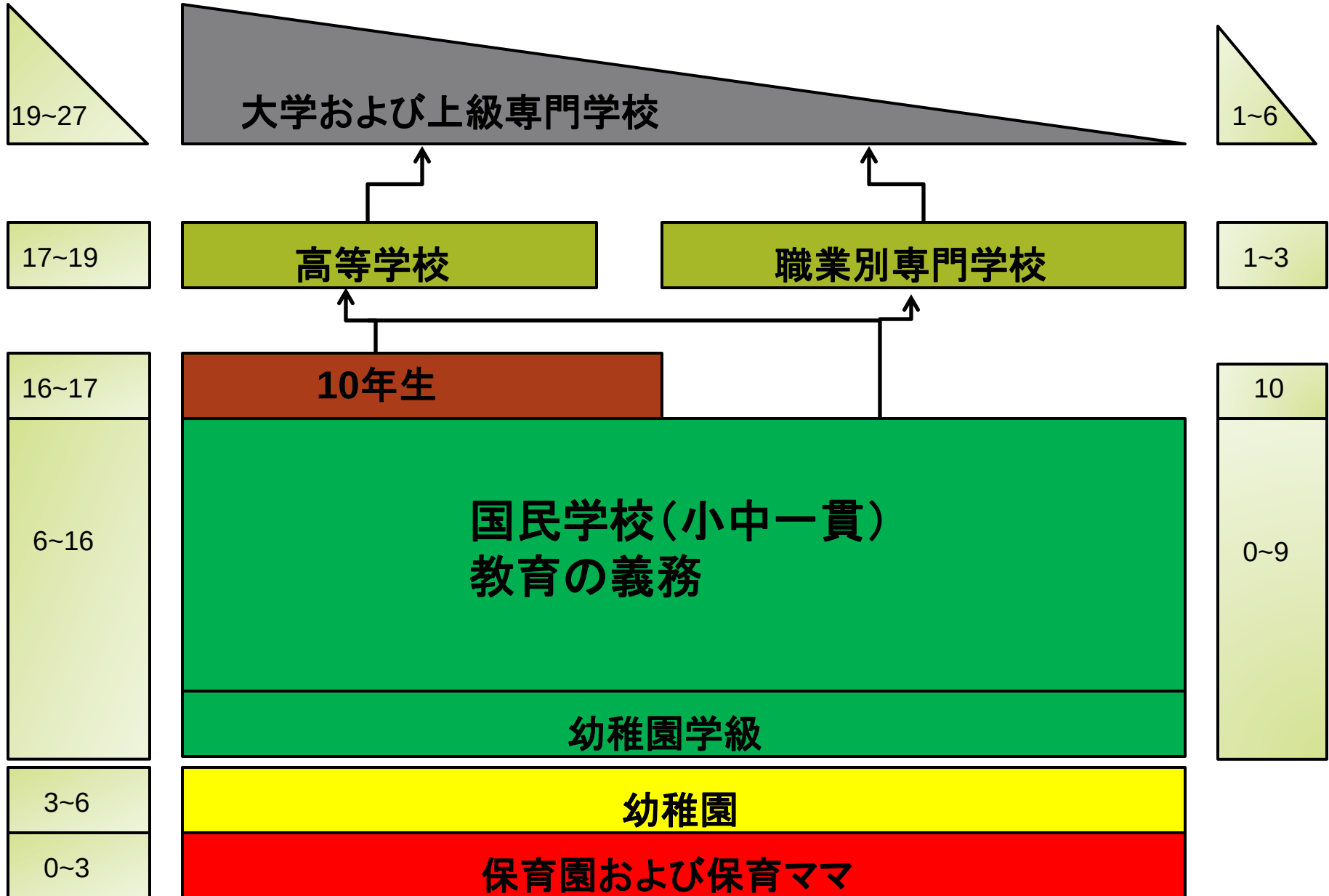
揺りかごから墓場まで ～公共サービスによる～

- 出産準備と出産費用は完全無料
- 育児休暇は完全保障
- 保育ママ、保育園、幼稚園で待機なし
- 義務教育10年間
- 教育の義務、学校でだけのサポートでなし
- 高校無料
- 大学無料
- 18歳以上の学生への学生手当

デンマークの教育制度

年齢

学年



- 低所得者への住宅手当
(年金生活者:最大3532kr)
- 生活保護や失業支援(2~3年間)
ー社会に扶養義務
- 医療費無料、成人歯科治療35%負担
- 早期年金
- 障害を持つ場合のさまざまな支援
- 65歳からの国民年金
- 死亡時に財産がなければ埋葬支援

フォルケ・ホイスコーレ

- N.F.S.Grundtvigが提唱。1844年最初の学校。
- 寝食を共にしながら「生きた言葉」で。
- 「人間同士の対話による相互の人格形成」
- 現在は約70校。

人文系、芸術・デザイン系、体育系、シニア、ヤング、キリスト教、ライフスタイル系など。

Nordfyns Højskole

(ノーフュンス・ホイスコーレ)

- フュン島北西部のBogenseに
- 2005年開校。前身は日欧文化交流学院。千葉忠夫創設
- 現在は80人程度。3分の2はデンマーク人。

コース

- 1.知的障害者
- 2.スリム
- 3.問題を抱えた若者
- 4.移民・難民
- 5.インターナショナル
- 6.語学・文化



デンマークが抱える問題

1. 増える移民・難民一軌轢

Ghetto 29か所

外人11.5%—そのうち6割以上が西洋以外

難民受け入れ10万6000人（2007年まで）

→日本12000人（1982年から2006年）

難民は生活保護受給者として支援を受ける

犯罪率も一般より高い。

2 . アルコール、薬物問題

・58万5000人（人口比10.7%、2007年）健康を損なう可能性がある飲酒

・14万人（人口比2 . 6 %）がアルコール依存。

・2万7千人（人口比0 . 5 %）が薬物依存症

—自己決定の結果？

3. 若者問題

生活保護受給の若者(18歳～30歳)

2万9400人(2013年第三四半期)

—16—20歳までで麻薬経験34.8%

4. 複雑な家族関係

—1959年離婚率(千人あたり)1.42件。

2009年3.01件。

ちなみに日本1.80件(2016年)

5. 肥満

BMI調査(2009年)

- ・肥満とみなされる25以上

25～44歳男性50%強、女性35%強

(1987年男性3人に1人、女性7人に1人)

特に、BMI30以上の「かなり肥満」

男性12%、女性13%

(1987年男性5%、女性3%)

6. 学力強化

「生徒の国際学習到達度調査(PISA)」

2009年

- ・読解力で33カ国中18位、科学的応用力19位、
数学的応用力12位

2007年から国民学校でテスト導入

2014年8月から国民学校改革スタート

デンマークの略史

- 400～750年 「ゲルマン時代」
- 古代北欧神話 祖先神「Tyr」「Tio」⇒「Tuesday」「Tirsdag」
- 主神「Odin」⇒「Odense」「Wednesday」「Onsdag」
-
- 750～1035年ごろ「バイキング時代」
- 主神「トール」（雷と豊穡の神）⇒「Thursday」「Torsdag」
- 豊穡の女神「フレイア」⇒「Friday」「Fredag」
-
- 793年、最初のバイキング。イギリス沿岸の僧院略奪
- ⇒遠征理由：人口過剰、冒険心、領土欲、キリスト教文明への反発。
- フランスでは「ノルマン人」と呼ばれる。
- 「Viking」⇒「Vik」（入り江）。「入り江に船をつないでいた人々」か？

- 940年ごろ 老ゴーム王、ハーラル王。
- 1000年前後 イギリス遠征。
- 1017年 クヌーズ大王がイングランド王。ノルウェーまで支配。
- 1167年 アブサロン司教がコペンハーゲンに要塞建設。ユトランドからシェランへ国の中心が移行。コペンの産業は、塩漬けニシン。
- 1219年 エストニアへ「十字軍」。赤字に白十字のぼろが降ってきた。のちに「国旗」（ダーネボー）。エストニアの首都「Tallinn」は「デンマーク人の町」
- 1396年 カルマル同盟。マルグレーテ女王により。3カ国がデンマークに。
- 1523年 スウェーデン独立。
- 1600年前後 クリスチャン4世治世。クリスチャンスハウン、フレデリクスボー城、ローゼンボー城建設。
- 1625年 ドイツ30年戦争（旧VS新）。介入し、敗戦。ドイツに今後介入しないことで講和。貧乏国へと転落のはじまり。

- 1645年 スウェーデンにユトランド半島占領され、ゴットランド島、ノルウェー中央部、ハラン失う。
- 1658年 大寒波で、シェラン島までスウェーデンが進軍し、コペンハーゲン包囲。コペンを残すだけの国へ
- 1659年 講和によりスコーネ喪失。領土の三分の一を失う。
- 1725年 ピョートル大帝の海軍でベーリングが海峡発見。
- 1788年 農奴制廃止
- 1807年 ナポレオンの敵にならないデンマークをイギリスが攻撃。海軍奪い、コペンハーゲンを包囲。
- 1814年 講和でノルウェーをスウェーデンへ割譲。
- 「学校法」が成立。7－14歳までの義務教育。同時に私立学校や家庭教師による教育も容認。1935年まで存続。
- 1841年 地方自治制導入
- 1844年 Askov国民高等学校（フォルケホイスコーレ）誕生

- 1848年 「運命の年」。フレデリク7世。3月21日、「自由主義の実現」を求める市民のデモ行進。自由主義憲法制定を約束。第一次フリースヴィ戦争。跳ね返す。
- 1849年 憲法施行。30歳以上の男子により選出された二院制の議会。三権分立。宗教の自由、報道の検閲禁止、公開裁判。
- 1864年。第二次フリースヴィ戦争。シュレースヴィ・ホルシュタインがプロイセンへ
- 「外に失ったものを内に求めよ」 詩人・ホルストの言葉。
- ダルガスによるユトランド半島の開墾事業。
- 1870年から1901年まで、上院と下院の対立。大土地所有者から選ばれた上院から大臣任命のため。1901年に下院から大臣選ぶようになる。
- 1882年 ユトランド半島西部に酪農協同組合誕生
- 1899年 労働組合認められる。
- 1901年 議会に多数決制度はじまる。
- 1915年 国政への女性参政権
- 1918年 アイスランド、立憲君主国として独立。
- 1920年 北スリースヴィ返還。

- 1940年 4月9日 戦闘4時間で降伏。
- 1944年 アイスランド、完全独立
- 1945年 5月5日 解放。クリスチャン10世
- 1949年 NATO加盟
- 1953年 憲法改正。女性の王位継承可能となり、一院へ。オンブズマン導入。
- 1968年 「Ungdomsoprøret」（若者の蜂起）。権威主義的体制崩壊。
De⇒Du
- 1972年 マルグレーテ2世即位。EFTA加盟
- 1978年 選挙権 18歳へ
- 1992年 マーストリヒト条約拒否
- 1993年 マーストリヒト条約批准、4つの例外（通貨、治安、外交、防衛）
- 1997年 自由交通往来に関する取り決め、国境撤廃
- 2007年 自治体改革 コミューン275→98、レギオン13→5

デンマークの社会保障の歴史と背景

- ◎ 国民高等学校と農協の役割
 - ― 対話と連帯
- ◎ 19世紀末に最初の社会保障関連法
 - ― 1891年高齢者救済制度(60歳以上)
 - ― 19世紀末、労働組合が失業基金設立
 - ― 1907年、失業基金に国が支援。額増加。
 - ― 1922年、高齢者年金(65歳以上)

- ◎ 1899年、4万人ロックアウト、労使協定成立
- ◎ 1933年、社会保障関連法充実
(カンスラーゲーデの合意)
- ◎ 1960年代後半 女性社会進出
- ◎ 1968年 若者の反乱
- ◎ 適度な政権交代(近年はほぼ10年おき)

Velfærdsstatens filosofi

(社会福祉国家の理念)

● **原則**

- 普遍主義-万人へ
- 税財源
- アクティヴにする社会政策
- 就労の可能性
- 自由選択
- 地方分権



社会福祉国家の理念

● 平等

- 入り口の平等 — あらゆる支援を受ける対等の権利
- 支払いの平等 — 万人は比例して支払う義務
- 受給の平等 — 支援を同じレベルで受ける権利

● なぜ福祉は保険ではなく税金を財源とする？

- 保険は収入と支出の関係がある
- 税金は収入と支出の関係がない

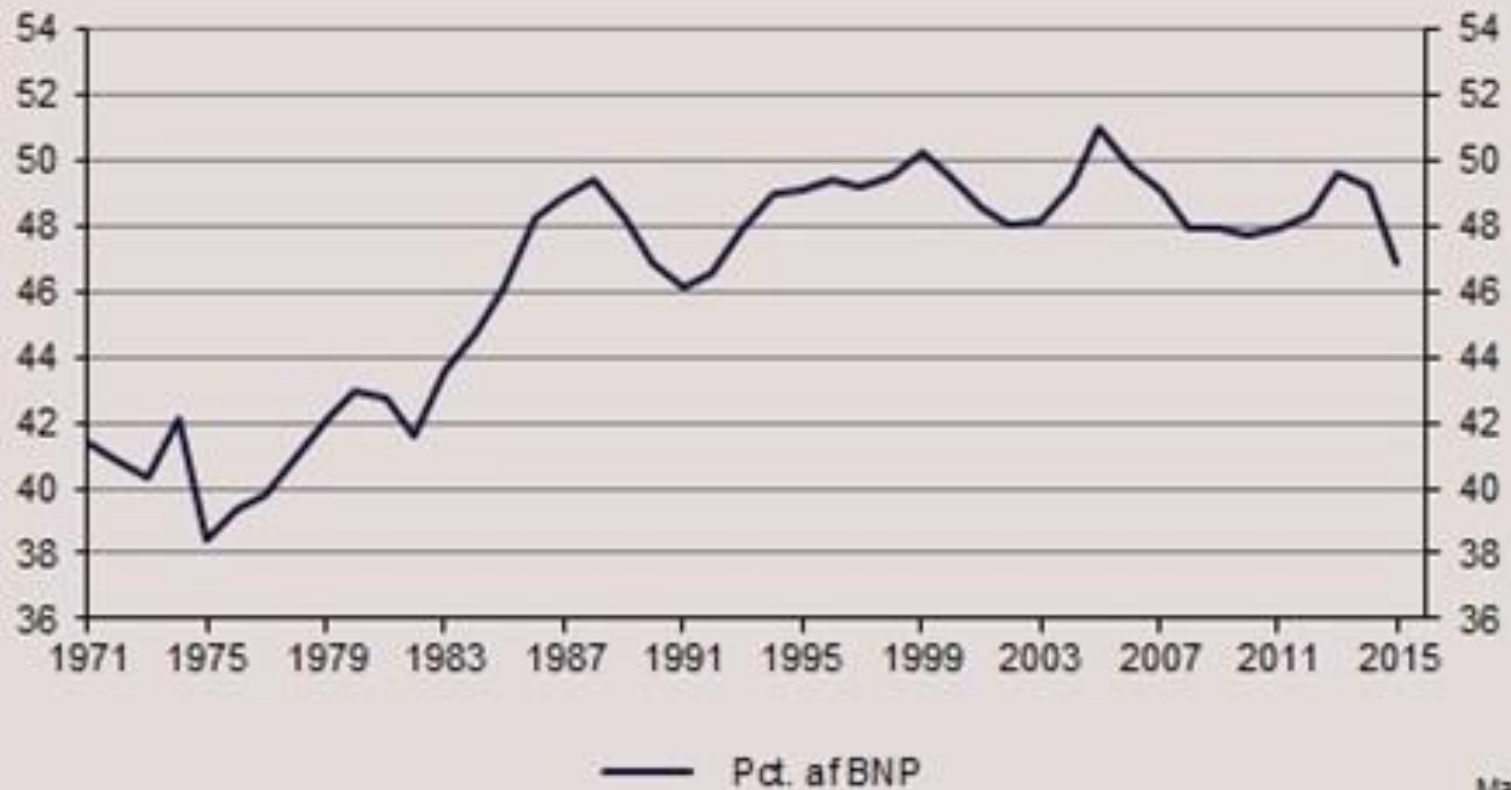


平等と分配



ピザはどう分ける？

GNPに占める税収入



Maj 2014

Velfærdsstatens økonomi

(社会福祉国家の財政)

	Mia.kr.			Procent		
	1990	2000	2012	1990	2000	2012
一般公費	94	112	167	20,1	16,1	15,4
防衛	17	20	27	3,5	2,9	2,5
治安	9	12	20	1,9	1,8	1,9
經濟	39	49	66	8,3	7,0	6,1
環境保護	2	8	8	0,5	1,1	0,7
土木	5	10	6	1,0	1,4	0,6
医療	56	86	154	11,9	12,3	14,3
余暇、文化、宗教	13	20	30	2,7	2,9	2,8
教育	59	103	143	12,5	14,8	13,2
社会福祉	177	278	460	37,7	39,8	42,6
全支出	471	698	1.082	100,0	100,0	100,0

直接税

(国税(9.083%-42,800kr以上+15%-449,100kr以上)
+ 地方税(平均24.9%) + 医療賦課税(2%)) + 労働市場貢献金 (8%)
国税 + 地方税 + 医療賦課税の合計上限は51.95%
所得から引かれる直接税率は計算上、最高55.56%

労働市場貢献金 (8%)

国税 (6.83%
+ 15%)

地方税 (平
均24.9%)

医療賦課税
(2%)

例) 月給3万kr(約51万円)

給与所得者控除、労働組合費や車のローンの利子など約6000krが非課税となり、手取り額は月約1万8千kr(31万円)。実質的な税額は約40%となる。

間接税(消費税)

- ・国税 1992年から25%

196710% 196812,5% 197015%

197718% 197820,25% 198022%

- ・軽減措置はなし。その代わり、免除または非課税あり。特に関税などとの2重課税を防ぐため、貿易に関しては免除または非課税がほとんど。

- ・徴収後の税金の使途の規定なし

その他

- 教会税 0.43-1.3% (平均0.93%)
- 自動車登録税 最初の 106,600 kr (約180万円) に 105%、残りに150 %
- 脂肪税 (2011年10月～2013年1月)
 - 一飽和脂肪1kgあたり16kr
 - 年間200億円の税収見込み
 - 10年間でデンマーク人の寿命5.5日延びる!?

デンマーク経済の成り立ち

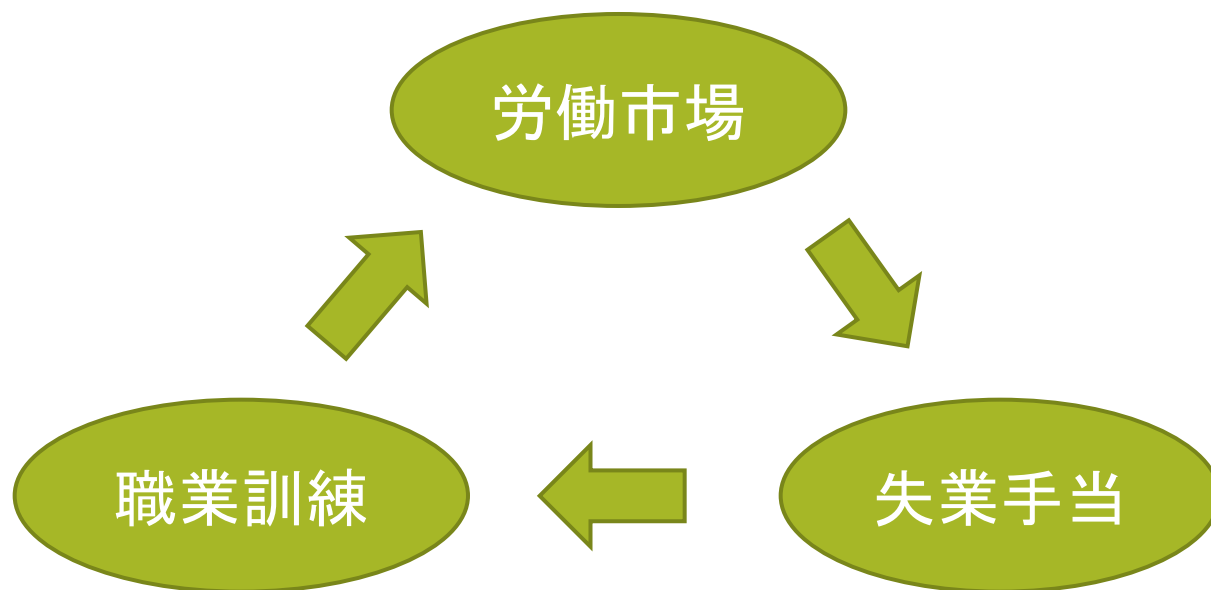
1. 税収入
2. 1人当たり名目 GDP : 5万 2,114^{ドル}
(2015年、出所:IMF、日本3万7600^{ドル})
貿易黒字・96億2257万ドル (約1兆700億円)
 - ・海運会社「A.P.モラー・マースク」
 - ・インスリン「ノボノルディスク」
 - ・豚肉「ダニッシュ・クラウン」
 - ・風力発電「ヴェスタス」
3. 公務員が全就業人口に占める割合32.1% (2017年3月)
4. 北海油田 (1960年代に発見、70年代のオイルショック後、本格化)
1997年からは原油自給率は100%超え

つまり

- 内部循環のために必要なエネルギーを民が稼ぐ構造

そして、労働面でも

- 「フレキシキュリティ」＝黄金の三角形



高齢者福祉の近年の傾向

現在の高齢化率約18%

→2025年に20%、2040年に24%を越える

これ以上支出を増やすことは容易でない



高齢者により自立してもらう必要



自立支援

(可能な限り長く自宅で自分でやってもらう)

・ハイテク ・歩行器 ・地域ネットワーク

生活保護や障害者福祉の傾向

- より生活保護の受給を厳格化
→ 可能な限り多くの人に働いてもらう
システムの構築
- インクルージョンの進展
→ さまざまな人が社会に包摂される

働き方 in デンマーク

- 週37時間、年休およそ6週間、残業なし
- 残業代
 - 一最初の3時間は時間給50%増。それから先の残業は時間給100%増。多くが代休で消化。
- 管理職の大きな仕事は、どうやって病休しないように、モチベーションを高めるか。
- 労働環境法
 - ・昇降する机がスタンダード
 - ・補助器具の存在

働き方 in デンマーク

- 女性が元の職場に必ず戻ることができる。背景には、組合との協定
- 労働者人口の70%以上が組合参加
- 外国人の雇用は不可欠。
 - スカンジナビアは“同じ国”
 - EUのため、東欧から流れ込む
 - 医師、技師は優先的にビザ取れる
 - 中東やアフリカから家族同行で

デンマークのまちづくり

- 中古が多い。新しければいい、ことはない。伴侶も！？
- バリアフリー、がすべてではない。出来なければ“人”で補う。
- 行政は専門家の集まり。
職員はほとんど公募制。
辞めさせられる。



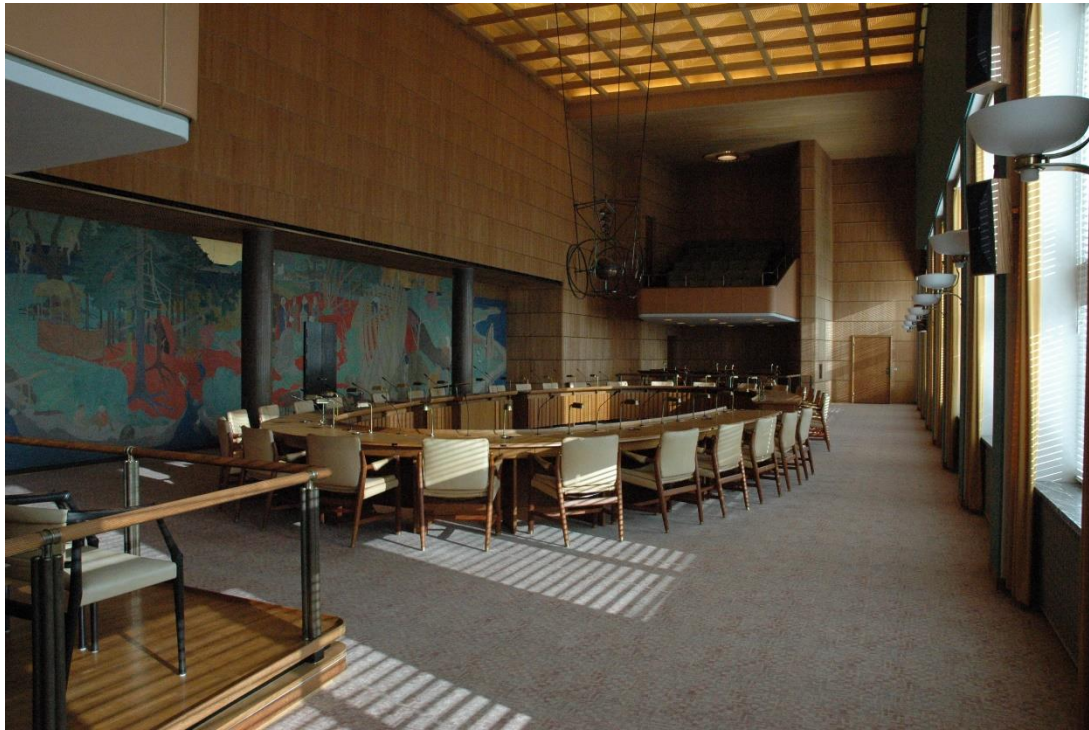
市民参加



- オーデンセの中心街再開発
- PRと意見を聞く建物



談論風発



- 「夢は夜開く」
- 政治家は若い
- 政治は“余暇活動”

医療と福祉の連携

- 24時間在宅看護・介護
- 可能な限り在宅
- ヒエラルキーがない社会。家庭医
- 地域を支えるのは監視の目を受けた行政
 - ⇔ 日本人は公務員嫌いの公務員志向
- 国民一人一人にソーシャルワーカー



自律を目指す教育



- 減点方式ではない加点方式。
- 民主主義で相手をリスペクト
- ねじ曲がったところで支える。
- 授業内容は子供と決める。誘導の力を教師は持つ。
- 学校外は親の責任
- 部活はなく、地域のクラブ活動に参加

自己決定、とは

- グループでの水注ぎ
- じゃんけん、あみだくじ



- デンマークではない。
- 自己決定を避けて、かつしないようにしている日本人。集団への帰属意識が強烈なまでに強い。

自己決定のメカニズム

- 自己決定、選択の自由に関する
社会的コンセンサス
- 他者へのリスペクト
～支援への提言は大歓迎～
- しかしあくまで本人の決定が前提

日本国憲法12条

この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の

不断の努力 によって、これを保持しなければならない。



住みやすい国、日本の誕生！！